

**≪川島ひばりが丘特別支援学校の活性化・特色化方針≫**

種別	肢体不自由	学部・学科	小・中・高等部 訪問教育部	R4.5.1 児童・生徒数	(男) 95 名 (女) 55 名	計 150 名
アクセス	JR桶川駅もしくは東武東上線川越駅よりバス「釘無」バス停下車 徒歩5分					
＜教育課程等＞						
<ul style="list-style-type: none"> <li>○埼玉県特別支援教育の教育課程編成要領に基づき、児童生徒一人一人の障害の状況や発達の状況に応じて、複数の教育課程を編成している。</li> <li>○それぞれの児童生徒に応じた教育課程を基に、学びやすい規模の集団を編成してグループ学習を行っている。</li> <li>○グループの担任を中心に、学年、学部、総合支援部等、学校全体で協力して児童生徒の学びを深めている。 障害の状況等に応じて、家庭や施設での訪問教育を実施している。</li> </ul>						
＜学校行事・部活動＞						
<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学部で開催する活気あふれる運動会・体育祭。…R4年度は、感染症対策のため、各グループ単位で実施。</li> <li>○児童生徒一人ひとりが活躍する文化祭「ひばり祭」。…R4年度は、感染症対策のため、各グループ単位の学習発表を実施。</li> <li>○高等部の生徒が参加するクラブ活動「ひばりクラブ」（スポーツ・音楽表現・リラクゼーション）…R4年度9月より活動予定。 感染症対策を取りながら、校外行事や宿泊学習、修学旅行を計画。</li> </ul>						
＜家庭・地域との連携＞						
<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学部で、近隣の小中高等学校と学校間交流を行っている。…R4年度は、オンラインで間接交流を予定。</li> <li>○就学関係者対象の学校説明会を2回、一般対象の学校公開を1回実施。</li> <li>○支援籍学習（学年・グループ通信、作品やDVDレター、直接交流とオンラインによる間接交流等）を小学部25人・中学部6人実施予定。</li> <li>○ニーズに応じて地域の小中学校や就学前施設の巡回相談及び教材・教具の貸し出しを実施。</li> <li>○ニーズに応じた校外幼保小中高の児童生徒・保護者からの教育相談に対応。</li> <li>○10月に公開講座を予定。</li> <li>○小中学校で肢体不自由教育に携わる教員のための情報交換会を開催。</li> <li>○必要に応じて行政機関や医療機関とのネットワーク会議やケース会議を実施。</li> <li>○ボランティア養成講座を年間1回実施。（R4年度計画） PTAと連携したサマースクールの開催。（R4年度は検討中）</li> </ul>						
＜進路＞						
<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学部・中学部児童生徒は、本校中学部・高等部にそれぞれ進学している。（一般の中学校・高等学校等へ進学する例もある。）</li> <li>○高等部は、福祉的就労14名（就労移行支援1名、生活介護13名）。 【福祉的就労】近隣市町の福祉施設、作業所など。</li> </ul>						

（※児童生徒数：R4.5.1現在、進路はR4.3卒業生の状況）

# 埼玉県立ひばりが丘特別支援学校 育成方針

## 学校教育目標

- (1) 障害に伴う困難を改善・克服しながら、自ら生活を切り開く意欲や態度を養い、個性ある自己実現を図る。
- (2) 心の優しさやたくましさやを養い、豊かで調和のとれた人間性を高める。

## 目指す学校像

- (1) 将来の自立や社会参加に向け、心豊かに、たくましく生きる力を身につけることのできる学校
- (2) 保護者や地域、関係諸機関から信頼され、誇れる学校



## 重点目標と具体的方策



ひばりん

- (1) 児童生徒一人ひとりの可能性と力を最大限引き出す授業づくり

- 新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底及び教育活動の充実
- 教員の資質向上
- 対面とオンラインの取組の発展
- 教育活動の充実
- 働き方改革

- (2) 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための取組の推進

- センターの機能の発揮
- 学校間交流、支援籍学習
- 進路開拓
- コミュニティ・スクール

- (3) 年間を通して児童生徒が健康で安全に学習できる環境づくり

- 安心安全の維持向上
- 災害、緊急対応
- 安全な学習環境、情報発信

## 小学部 学部目標

- (1) きづき いっぱい はっけんしよう
- (2) やるき いっぱい やってみよう
- (3) げんき いっぱい すごそう
- (4) ふれあい いっぱい ひろげよう

## 中学部 学部目標

- (1) 自ら学び、考え、伝え合う力を伸ばそう。
- (2) 相手に思いやりの気持ちをもって、自分で決めたことをやり遂げよう。
- (3) 生活リズムを整え、自己理解のもと、健康的に過ごそう。
- (4) たくさんの人との関わりの中で、自分の役割を見つけよう。

## 高等部 学部目標

- (1) 人との関わりや生活経験を広げる中で、基本的な学力を培い自己表現力を高める。
- (2) より豊かな人生を送るための生活力や文化を楽しむ態度を身につける。
- (3) 基本的な生活習慣を整え、健康的な生活の向上を図る。
- (4) 将来の社会生活を意識し、働く意欲や態度を養い、知識や技能を身につける。

## 訪問教育部 目標

- (1) 周りに気づこう、考えよう、表そう
- (2) 自分に気づこう、チャレンジしよう、やり遂げよう
- (3) 身体に気づこう、健やかでいよう
- (4) 周りどやりとりしよう